

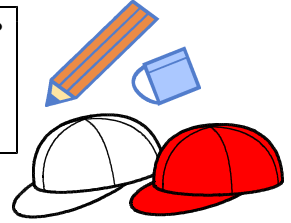


平成28年度若手教員〔3年次〕研修講座を実施しました。

6月8日（水）は、「**学校生活における教育相談的対応**」について研修しました。

例）先生方はこんなとき、どのような言葉で褒めていましたか？

- ・ 児童が100点を取ったとき
- ・ 児童が陸上記録会で1位をとったとき



⇒「児童の自信を引き出す褒め方」のポイント

○結果よりも努力や姿勢，過程を褒めるようにする

（結果に注目してはならないというわけではない）。

○成功したときだけでなく，失敗した時にも褒めるようにする。 など

●●●●● 受講した先生方からは，次のような感想が寄せられました ●●●●●



多様な児童がいる中で，それぞれの児童の実態に応じた声掛けや対応をしなければならぬと改めて感じました。自信を付けさせるために，褒めることを増やしながらも，タイミングや方法，目線等に気を付けながらかわっていきたいと思います。

結果より，そこまでのプロセスを認めてあげることの大切さをしみじみと思いました。言葉には，本当に心があるので，今後今日のことを生かしていきたいです。



成功したときだけでなく，失敗したことも褒め，児童の自信を引き出す褒め方を教わりました。

いばらき教育プラン（平成28年度～平成32年度）では『一人一人が輝く教育立県を目指して～子どもたちの自主性・自立性を育もう～』とうたわれています。今回の講座を通して学んだように，子どもたちの自信を引き出す褒め方で，子どもたちの自主性・自立性を育てていきましょう。

